

お金を使う

③ キャッシュレスってなに？





これもお金なの？





これもお金なの？





質問

「電子マネー」について質問をします。

Q1. 「電子マネー」を持っている人は手を挙げてください。



Q2. 「電子マネー」は、どんなところで使いますか？

- 電車・バス
- スーパーマーケット
- コンビニエンスストア
- 自動販売機 など

Q3. 「電子マネー」を使う時に気をつけていることや、家の人と決めていることはありますか？

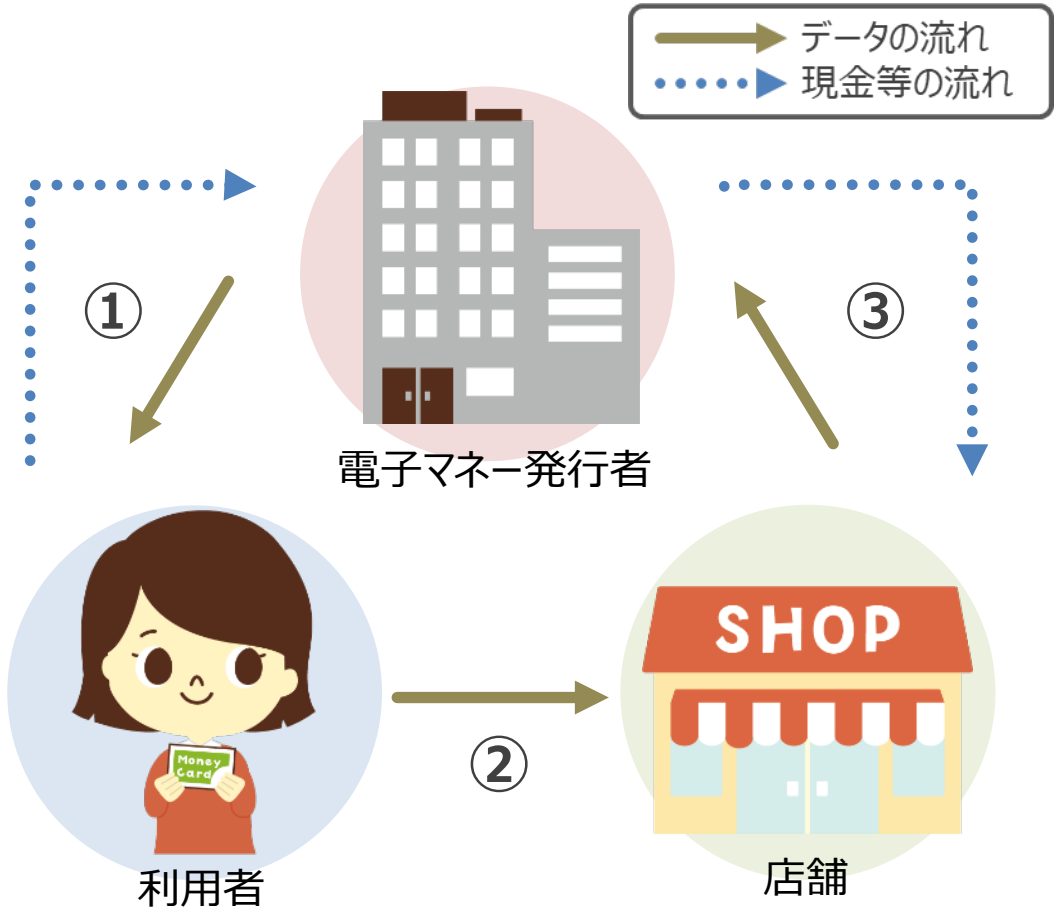
- 使ってもよい上限額を決めておく
- 利用履歴を見せる
- 決まった目的にしか使わない など



「電子マネー」とは

現金を使わずに、電子的に行われる決済（支払い）手段のことです。現在、わが国で発行されている電子マネーは、一般的に次のような仕組みとなっています。

- ① 利用者は、電子マネー発行者に対して現金等を支払うことにより、電子マネーを受け取ります。
- ② 利用者は、受け取った電子マネーを、店舗へ商品を買った代金として渡します。
- ③ 電子マネー発行者は、店舗に対し電子マネーと引換えに現金等を支払います。





「キャッシュレス」とは

電子マネーや**クレジットカード**を利用して、現金(キャッシュ)を使わずに支払いをすることを**キャッシュレス**といいます。
その時に現金は払いませんが、次のいずれかのタイミングでお金を払う必要があります。

前払い	同時支払い	後払い
モノ・サービスの提供を受ける前にお金を支払う方法	モノ・サービスの提供を受けると同時にお金を支払う方法	モノ・サービスの提供を受けた後にお金を支払う方法



さまざまな決済手段の種類と特徴

支払いのタイミング	決済手段の種類	注意すること
前払い	<ul style="list-style-type: none"> ●プリペイドカード ●電子マネー（プリペイド型） ●銀行振込 	QRコード決済／ バーコード決済
同時支払い	<ul style="list-style-type: none"> ●デビットカード ●代引き 	
後払い	<ul style="list-style-type: none"> ●クレジットカード 	

※QRコード決済／バーコード決済においては、先に現金でチャージを行う、支払いと同時に銀行口座から代金を引き落とし、登録したクレジットカードで支払うなど、支払方法は様々です。

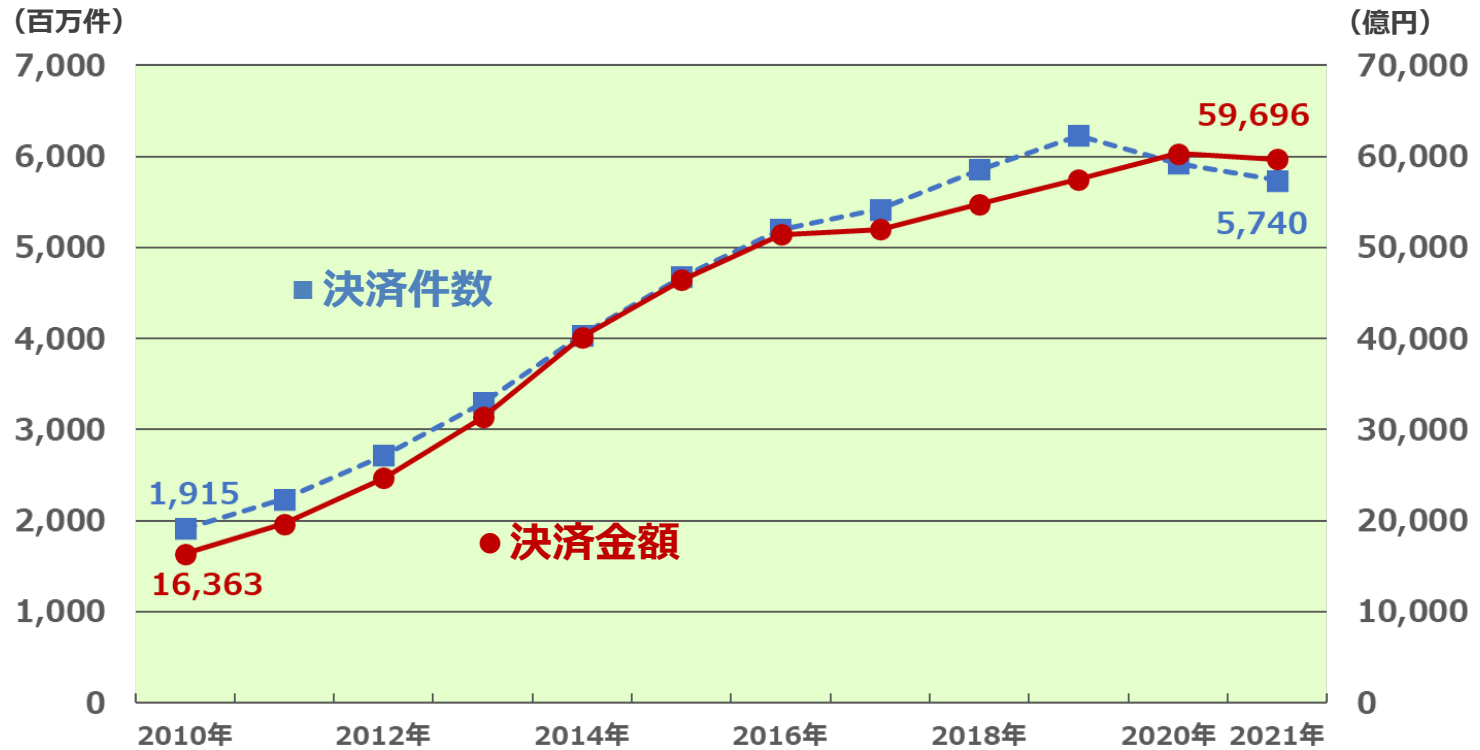
※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

- 現金を使わずモノやサービスの支払いをすることを**キャッシュレス**という。
- さまざまな決済手段の**特徴を理解し、自分に合った方法を選択**しよう。
- **キャッシュレスでも実はお金を使っている、**ということを理解しよう。



日本における「電子マネー」の普及率

日本銀行の推計によれば、IC型電子マネーは決済件数、決済金額ともに成長を続け、2010年には決済件数19億1,500万件、決済金額1兆6,363億円だったのが、2021年には決済件数57億4,000万件、決済金額で5兆9,696億円に達しています。



※ IC型電子マネーを対象。専業系、交通系、流通系提供のデータを集計。交通系については、乗車や乗車券購入に利用されたものは含めていない。



「決済手段」の使用割合

日常的な支払い（買い物代金等）の主な資金決済手段については、1,000円以下までの決済では、「現金」が**62.5%**、「電子マネー」が**43.2%**となっています。10,000円～50,000円の決済では、「クレジットカード」が**73.4%**、「現金」が**29.4%**、「電子マネー」が**18.7%**となっています。

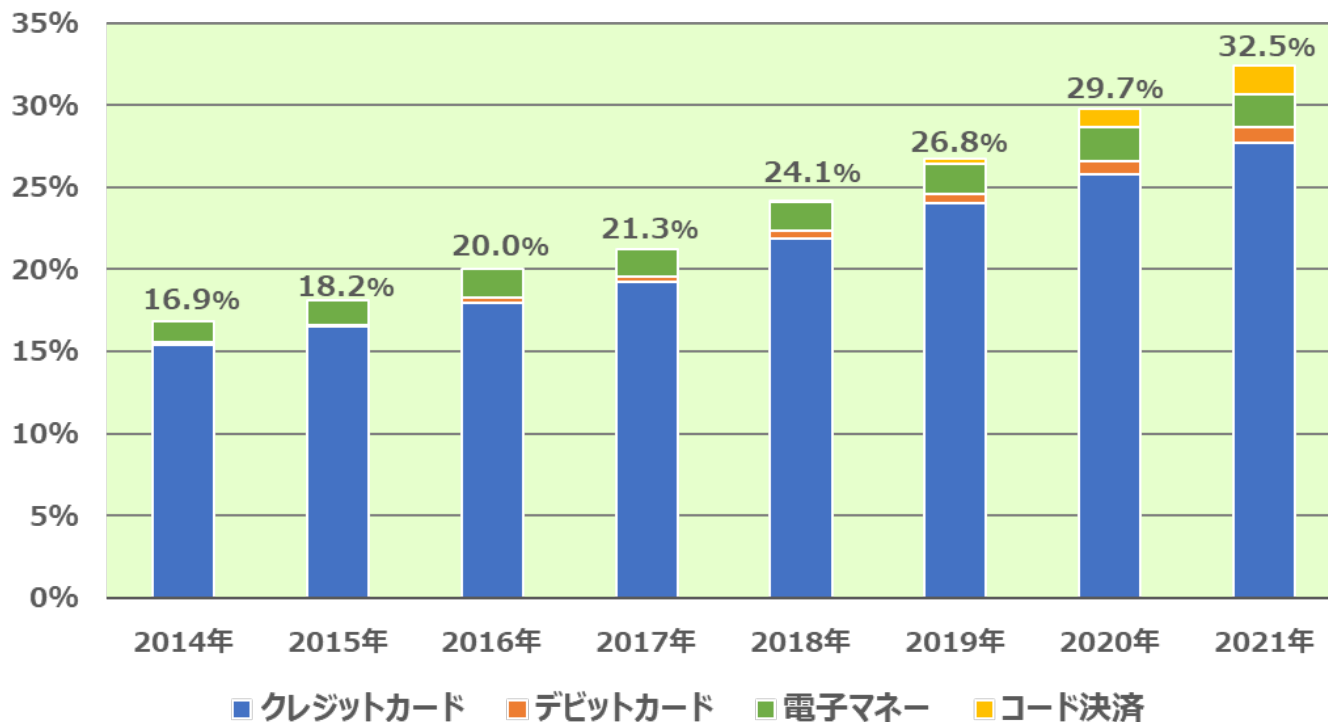
	現金	クレジットカード	電子マネー (デビットカード含む)	その他
1,000円以下	62.5%	35.4%	43.2%	4.4%
1,000円～ 5,000円	48.9%	54.5%	38.3%	4.0%
5,000円～ 10,000円	39.3%	65.7%	27.8%	3.7%
10,000円～ 50,000円	29.4%	73.4%	18.7%	4.2%
50,000円以上	23.8%	75.3%	12.2%	5.7%



日本のキャッシュレス支払額と決済比率の推移

2021年のキャッシュレス決済比率は、32.5%。

家計の支出額の約3割が、クレジットカード、デビットカード、電子マネー、QRコード決済等で支払われていることとなります。



※ 民間最終消費支出に占めるキャッシュレス支払手段
(クレジットカード、デビットカード、電子マネー、QRコード決済) による支払額の割合
出典：経済産業省「キャッシュレス支払額及び決済比率の推移」2022年6月1日



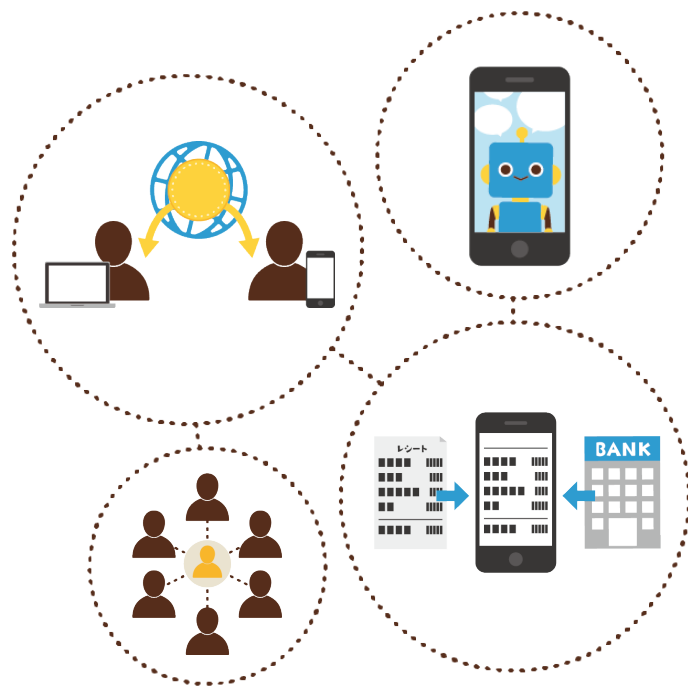
「フィンテック (Fintech) 」とは？

英語で

金融という意味の**ファイナンス**(Finance)と
技術という意味の**テクノロジー**(Technology)

を組み合わせた造語。

スマートフォンや人工知能(AI)など、ITを使った新たな金融サービスの総称です。



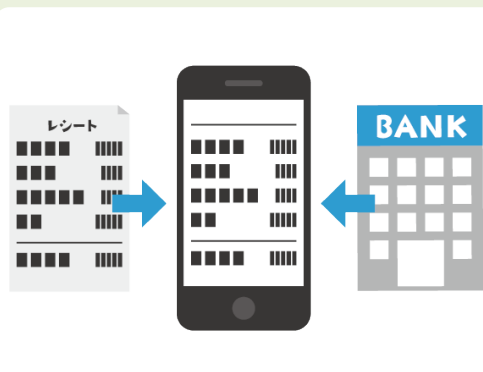


「フィンテック」とは？

最近のニュースで見聞きするものを集めてみました。

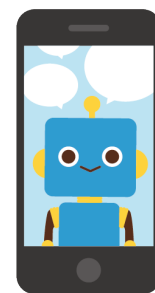
家計簿アプリ

登録した銀行口座の情報等を自動でまとめて家計簿を作成したり、レシートをスマートフォンで撮影することで、金額や品目等を読み取り、アプリ内に自動で記録するなど、便利な機能を利用できます。



ロボアドバイザー

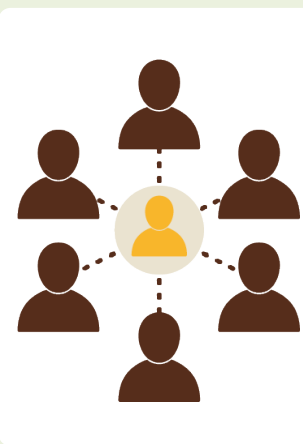
年齢や現在の資産状況、リスク許容度などを入力すると、それに応じた運用資産の分配を提案してくれます。



クラウドファンディング

「群衆(Crowd)」と「資金調達(Funding)」を掛け合わせた造語で、「こんなことがしたい」という提案に対して、賛同した人が資金提供できるサービス。

一般的にモノやサービスを買うことでプロジェクトを支える「購入型」、リターンを求めない「寄付型」、プロジェクトに対して投資や融資などで資産提供を募る「投資型」などのタイプがあります。



暗号資産

主にインターネット上で決済に使える「通貨」(通常の通貨と異なり国(中央銀行)の管理に基づかない)。一般的に、ブロックチェーン(分散型台帳技術)と呼ばれる技術を使っています。

